

デロイト トーマツ テレワークセンター株式会社

貸借対照表

2022/3/31 現在

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	807,679	流動負債	487,899
現金及び預金	301,728	未払金	181,053
売掛金	480,057	未払費用	25,944
前払費用	28,666	未払法人税等	206,791
その他の流動資産	92	未払消費税等	72,641
貸倒引当金	2,865	預り金	1,468
固定資産	73,084	負債合計	487,899
有形固定資産	33,620	純資産の部	
建物	10,386	株主資本	392,864
建物附属設備	2,299	資本金	50,700
工具、器具及び備品	6,659	利益剰余金	342,164
土地	14,275	利益準備金	102
無形固定資産	74	その他利益剰余金	342,062
電話加入権	74	研究開発準備金	1,000
投資その他の資産	39,389	繰越利益剰余金	341,062
敷金	4,538		
差入保証金	70		
長期貸付金	12,996		
長期前払費用	245		
繰延税金資産	18,343		
		純資産合計	392,864
資産合計	880,764	負債及び純資産合計	880,764

(注1)：千円未満は切捨てにより作成しています。

(注2)：当期純利益 475,450千円

個別注記表

自 2021/4/1
至 2022/3/31

重要な会計方針

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品及び製品

・・・ 最終仕入原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

・・・ 定率法又は旧定率法

(ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)は旧定額法、2007年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)は定額法を採用しております。)

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

売上債権等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

4. 収益及び費用の計上基準

売上高は、原則として業務提供の進行に応じて計上しております。

但し、事業年度未までの進捗部分について成果の確実性が認められない案件については、成果が確実と認められた時点で計上しております。

5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理・・・税抜方式

会計方針の変更に関する注記

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)および「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2021年3月26日)を当事業年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転したと判断した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

当該会計基準の適用による影響はありません。

株主資本等変動計算書に関する注記

1 発行済株式の数に関する事項

株式の種類	普通株式
発行済株式数	1,000株

収益認識に関する注記

収益を理解するための基礎となる情報

「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。